



3学期が始まりました

新しい年、令和8年（令和7年度3学期）がスタートしました。1月6日（火）は3学期の始業日でした。「一年の計は元日にあり」といいますが、学校は「一年の計は3学期始業式にあり」です。それが今年の目標をもって取り組んでいくことと思います。3学期は学年のまとめの時期であり、次の学年の準備の期間もあります。保護者や地域の皆様に見守っていただけするとありがとうございます。

始業式では、3年生と4年生の代表児童が作文発表をしました。今年がんばることをみんなの前で話しました。決意あふれる立派な発表でした。今年の干支は午（うま年）です。午（うま）は古くから、力強く前へ進む姿や、誠実に物事に向き合う象徴とされてきました。また、目標に向かって着実に歩みを進める粘り強さや、仲間とともに道を切り拓いていく存在としても親しまれています。本校におきましても、子どもたち一人ひとりが自分の可能性を信じ、失敗を恐れずに挑戦しながら、学びの道を力強く進んでいける一年となるよう、教職員一同努めてまいります。

本年も、保護者の皆様と連携を大切にしながら、子どもたちの健やかな成長を支えてまいりたいと存じます。引き続き、本校教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当たり前のことを確実に～あいさつ、返事、整理整頓など～

それぞれの学級の授業の様子を毎日見てまわっています。それぞれの学年、学級のカラーが出ています。発表したり、タブレットを操作したりと、いろんな場面を見ます。学力の向上のためにも授業への集中した取組はこれからも重視していきたいものです。

でも、それ以上に忘れてはいけないものはあいさつ、返事など生活の中で当たり前に行う行動です。これらのが本当に確実にできているでしょうか。子どもたちは、いずれ実社会に出て、いろんな人と出会い、助け合いながら生きていきます。その時に、あいさつや返事はコミュニケーションの第一歩であり、人間関係を築く上でとても重要です。また、整理整頓をすれば物をなくすことも防ぐことができます。当たり前のことが、このようなことが定着した上での学力です。大人も手本を示しながら、当たり前の行動の定着を目指していきたいですね。

【1年生：昔の遊び体験 1月14日（水）】

今年も学校支援ボランティアの皆様を講師に迎え、昔の遊び体験を行いました。生活科の学習で、昔の遊びについて調べたり、体験するときのマナーや順序を話し合ったりして、準備を進めてきました。

「遊び」ではありますが、学習です。「遊び」を通して年長の方々を敬う心や仲間と協力して楽しく活動できる態度などを学んでいくことも目的です。上手にできるようになるためには、どうすればよいか考え、工夫することに気づくことも大事な勉強です。そして、自分達を支えてくださる方々への感謝の気持ちを育てるこも大切にしていきます。今年も、ボランティアの方々と楽しく活動できた1年生でした。ボランティアの皆様、ご協力ありがとうございました。



日南市新春子どもたちの声を聴く会

(1月20日)で、各学校の代表児童が、自分の思いを堂々と発表しました。下記は、南郷小代表児童の発表内容です。よく頑張りました。

SDGs 不平等をなくして明るい未来へ

南郷小学校 6年 古井 歩夢

世界には、多くの不平等があります。例えば、生まれた場所がちがうだけで、満足にご飯が食べられない人がいます。性別のちがいだけで、学校に行けずに夢をあきらめてしまう人がいます。同じ人間なのに、とてもおかしいことだと思いました。

実は、日本も、世界の中で不平等を経験し、くやしい思いをしていたことを知っていますか？

約150年前、日本は不平等条約を結ばされ、とてもつらい状況が続きました。なぜなら、外国のルールにコントロールされているような状態だったからです。自分の国なのに、自分たちで大事なことを決められないのは、想像しただけでもくやしいです。

この不平等を「解決する」と、全力で取り組んだのが、小村寿太郎です。寿太郎は、僕と同じくらいの身長でしたが、頭が良く、話し合いのプロでした。外国人の人と何度も話し合い、あきらめませんでした。そしてついに、日本は不平等条約をなくすことに成功したのです。「日本も他の国と同じ。不平等は認めない。」と、世界に堂々と宣言できました。

寿太郎が不平等をなくすためにがんばったように、僕たちも、身の周りの「不平等」や「不便」をなくす行動をしないといけません。僕たちの身の回りの小さな不平等。例えば、車いすを使っている人が、階段しかない場所で困っていること。例えば、耳が遠いお年寄りの方が、話を聞き取れず、不安そうにしていること。こうした様子は、「みんなが同じように生活できる」という SDGs の目標からも解決しないといけません。

僕たちは、学校の福祉体験学習で多くのことを学びました。僕たちにできることは、まず、相手の立場になって想像することではないでしょうか。車いすを使っている人を見たら、スロープを探したり、エレベーターのボタンを押して待ったりする。これは、「環境の不平等」をなくす行動です。お年寄りの方には、ゆっくり、はっきり、笑顔で話す。外国人の人には、優しく、簡単な言葉で道案内をする。これは、「心の不平等」をなくす行動です。

小村寿太郎は、国の不平等をなくしました。僕たちは、目の前の小さな不平等を一つづつなくすことができます。僕は、誰とでも、差別なく、優しい心で接し、困っている人を助け合える平等な社会をつくっていきたいです。

みんなが幸せな「不平等のない、明るい未来」を、僕たちで実現させましょう。

<2月の主な行事>

- 2月 2日（月）全校集会 委員会活動
- 9日（月）読み聞かせ（下学年）
- 13日（金）新入学児保護者説明会
- 16日（月）読み聞かせ（上學年）
- 19日（木）参観日 学校運営協議会
- 20日（金）クラブ活動（60分）
- 25日（水）地区児童会 卒業式練習（5・6年）
- 26日（木）卒業式練習（6年）
- 27日（金）お別れ遠足 弁当の日

